

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

<p>学会名</p>	<p>日本農芸化学会2017年度京都大会</p>
<p>演題名</p>	<p>インゲン未熟種子中のアブシシン酸および12-オキソフィットジエン酸の脱離エレクトロスプレーイオン化-イメージング質量分析法による可視化</p>
<p>発表者</p>	<p>○<u>扇子拓也</u>※、<u>佐藤圭</u>※、<u>佐藤太</u>[1]、<u>湯本絵美</u>、<u>宮本 皓司</u>、<u>横田 孝雄</u>、<u>山根 久和</u>、<u>榎元 廣文</u>（食品分析学研究室） [1]日本ウォーターズ株式会社</p>
<p>内容</p>	<p>植物ホルモンの一種であるアブシシン酸(ABA)および、ジャスモン酸の生合成中間体で独自の生理機能も有している12-オキソフィットジエン酸(OPDA)などは、種子の生理の制御において重要な働きをしている。しかし、種子中のABAおよびOPDAの可視化法は開発されていない。 そこで本発表では、脱離エレクトロスプレーイオン化-イメージング質量分析法を用いたインゲンマメ未熟種子中のABAおよびOPDAの可視化について報告した。 なお、本研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」による支援を受けて行った。</p>
<p>関連画像</p>	 <p>The image shows two men in dark suits and ties standing in front of a large white banner. The banner is for the '2017年度大会 京都' (2017 Annual Meeting, Kyoto) of the '公益社団法人 日本農芸化学会' (Public Interest Incorporated Association of Agricultural Chemists of Japan). The banner also lists the dates as '2017年3月18日~20日' and the venue as '京都女子大学' (Kyoto Women's University). The men are wearing name tags and appear to be at the conference.</p>